

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
選択科目	2 単位	日本の文化財	高山 有紀	1 年次	秋

授業のキーワード	重要文化財（国宝）、世界遺産、地域と文化財
授業の概要	奈良や京都の著名な文化財、群馬の文化財等を通して、「文化財とは何なのか」、どこが優れており、何のために保護継承されるのかについて学びます。
期待される学習成果（目標）	①歴史の学習等で触れてきた文化財について、改めて正しい知識を得ることが出来ます。 ②めざましく変動する現代社会において、普遍的な価値が存在するのか、共に考える機会となります。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	はじめに	授業の進め方について説明を行います。	第 9 講	中間のまとめ	第 2 講から第 8 講までの学習をまとめます。
第 2 講	文化財の基本的知識	文化財に関わる基本的な用語の意味や、文化財保護法について学びます。	第 10 講	美術工芸③	重要文化財に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。
第 3 講	建造物①	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。	第 11 講	美術工芸④	重要文化財に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。
第 4 講	建造物②	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。	第 12 講	書跡・古文書①	重要文化財に指定されている文化財のうち、書跡・古文書を題材に学びます。
第 5 講	建造物③	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。	第 13 講	書籍・古文書②	重要文化財に指定されている文化財のうち、書跡・古文書を題材に学びます。
第 6 講	建造物④	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。	第 14 講	群馬の文化財	国の重要文化材を中心に、群馬の文化財について学びます。
第 7 講	美術工芸①	重要文化財に指定されている文化財のうち、彫刻を題材に学びます。	第 15 講	まとめ	本講での学習内容を総括します。
第 8 講	美術工芸②	重要文化財に指定されている文化財のうち、彫刻を題材に学びます。	定期試験		指定する分野の文化財 1 点を選択し、その文化財としての価値についてレポートを作成してもらいます。
評価方法		平常点（授業への取り組み、リアクションペーパーの内容等） 30 パーセント、試験や中間課題についての評価 70 パーセント			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。			立正大学仏教学部監修『文化財保存学入門』（丸善ブラネット） 榊原悟監修『すぐわかる絵巻の見かた』（東京美術） 人見春雄ほか編『図解 文化財の見方―歴史散歩の手引』（山川出版社）		